

令和3年度 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	第1学年	学科 種類	普通科
単位数	2単位	教科書	改訂版 高等学校 現代社会(数研出版)				
副教材	最新図説 現社(浜島書店)、改訂版 高等学校 現代社会 整理ノート(数研出版)						

学習目標	<p>1 個人として、社会として、国家としてどのように他者と関わっていけばよいのか。青年期と自己の形成について学び、人間としてのあり方・生き方を探求していきます。</p> <p>2 民主政治と政治参加の意義・経済社会と経済活動のあり方を学ぶことで、良識ある公民に成長し、国際社会における日本の役割についても考えていきます。</p>
------	---

キャリア教育の視点	<p>2年のコース選択に結びつくよう「どのような職業があり、どのような資格が必要なのかを知る」「どの職業が、どの学部・学科に結びつくかを調べる」ということを基本に置きます。倫理分野、政治分野、経済分野について学んでいく中で「自分は何を学びたいか」「何を一生の仕事としたいか」をよく考えて、学力の向上につながるよう取り組んでいきます。ホームルームにおける進路指導と連動していきます。</p>
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第1編 私たちの生きる社会	<p>資源・エネルギー問題について、身近なところから考え、日本の問題・世界の問題へと考えを広げていきます。青年期に関する理解を深め、自己指導能力を高め、学習方法を身に付けることができるようにします。</p> <p>「民主主義とは何か」を説明できるように民主政治の基本原則、日本国憲法と基本的人権、日本の政治機構について理解を深めます。</p>	中間考査
	5月	第1節 青年としてのあり方・生き方		
	6月	第2節 先人の生き方・考え方		期末考査
	7月	第3節 日本人としての自覚		
2 学 期	8月	第2編 現代社会と人間としてのあり方 生き方	<p>市場経済(資本主義経済)と計画経済(社会主義経済)についての理解を深めていきます。</p> <p>経済政策には、財政政策と金融政策があり、どのような局面においてどのような政策が取られるのかについて考えることができる力を養います。また社会保障制度について、理解します。</p>	中間考査
	9月	第1節 民主政治の基本原則		
	10月	第2節 日本国憲法と基本的人権		期末考査
	11月	第3節 日本の政治機構		
	12月	第4節 政治参加と民主政治の課題		
3 学 期	1月	第1節 経済のしくみと市場機構	<p>これまでの学習を基に、国際政治及び国際経済に関するルールを学び、国際社会において、日本が果たすべき役割について考えていきます。</p>	学年末考査
	2月	第2節 財政と金融		
	3月	第3節 日本経済の発展と変化		
		第4節 豊かな生活と福祉の実現		

学習の方法	<p>板書の内容について、重要語句を理解すると同時に板書を構造的に理解するように取り組んでいきます。語句の定義(意味)について理解し、新しい語句を自ら使用して試みることで理解が深まるものと考えています。</p> <p>ノート整理だけでなく、整理ノートを活用して「自己指導能力」を高めるようにします。また、図説については、記憶するための印象付けのため使用頻度を多くしています。</p>
-------	---

評価の仕方	<p>授業態度(授業の姿勢)・定期考査の成績・課題・提出物などを総合的に評価します。</p>
-------	--

備考	<p>授業の進捗状況により、学習計画及び内容について変更されることがあります。</p>
----	---

